

## 全国の舞台で健闘

陸上競技や水泳、ゴルフで全国大会に出場した市内の小中学・高校生8人が9月13日、市長へ報告に訪れました。

ゴルフで全国大会初出場を果たした水谷海琉さん(旭小6年)は「他の選手の身長が高く緊張してしまい、良い結果が出せなかった。次の大会では頑張りたい」と意気込みを語り、水野倅弥さん(中部中3年陸上部)は「大会に出られたのは周りの支えのおかげ。これからも日々の努力を大切にしていきたい」と話しました。



全国大会に出場した皆さん

## 全国で可児をPR!

9月6日、ラッピングトラックのお披露目会が市役所駐車場で行われました。このトラックは株式会社山商運輸(本社：坂戸)が製作。山本一輝代表取締役は「長年愛着のある可児のPRをしたいという思いが実現できてうれしい。トラックは市内だけでなく全国各地を走るのだから、見かけたらぜひ手を振ってほしい」と語りました。

YouTubeで動画も観てね!



トラックを披露する山本代表取締役



見つけた宝から指令を読み解く子どもたち

## みんなで謎を解け!!

9月15日、広見小学校の児童を対象に「広見地区センターでナゾをとけ!!」が開催され、24人が参加しました。イベントは、広見地区センターの地域拠点化事業のひとつとして、子どもたちの居場所を作ろうと地元の有志DIT(Do It Together)が主催。

部屋に隠された宝(紙片)を地域の大人たちと一緒に探し、そこに書かれた指令をクリアしていくゲームに挑んだ。子どもたちからは「さらに難しい謎にも挑戦したい」「もっと地区センターで遊びたい」といった声が聞かれました。



市長と都築社長

## 備えあれば憂いなし

9月11日、市は株式会社善都と「災害時における支援協力に関する協定書」を締結しました。この協定により、災害時に(株)善都の駐車場の一部を復旧用資材や災害廃棄物の一時保管場所として使用でき、また、地域住民と連携した防災対策にも取り組んでいただくことになりました。

都築社長は「地元根差す企業として、行政や市民の手伝いをしていきたい」と話し、市長は「防災意識の向上に協力いただきありがたい」と話しました。

## 長寿の秘訣は毎日の運動

9月19日と20日の2日間にわたり、市内在住で今年度100歳を迎える人の自宅や施設を市長が訪問し、長寿をお祝いしました。広見在住の野本徳二さんは今年度100歳を迎える16人のうち、唯一の男性。好きな食べ物はお肉だそうで、「健康の秘訣は、毎朝起き上がる前に行う腹部マッサージと足の上下運動。これは毎日欠かしません」と力強く話してくれました。

市内に住む100歳以上の人は9月20日時点で45人、最高齢者は108歳です。皆さん、これからもお元気にお過ごしください。



野本さんと市長

## 山形県からも可児をPR!

山形県の大学3年生で、森乱丸の兄弟が大好きなみずきちさん(Instagram: @mizu\_rann1582)が、9月中旬に可児市を訪問しました。みずきちさんはSNS上で、11月9日と10日に市内で開催される全国山城サミット可児大会の告知やPRを行っています。

9月12日には、FMからのラジオ番組「あかりい話」の収録に参加し、森家や山城の魅力を思う存分語ってくれました。

その様子は番組ブログからいつでも聞けます。



ラジオ収録の様子(左がみずきちさん)



負傷者役を救護する署員

## 合同訓練でまちの安全を!

無差別殺傷事件を想定した合同訓練が9月25日、可児駅前広場で行われました。警察、消防、鉄道、市の職員など40人が参加したこの訓練は、大河ドラマの放映により観光客が増加することで、不特定多数の民間人が集まる「ソフトターゲット」へのテロ対策として実施されました。

可児署の原井署長は「訓練を通して出た課題を教訓とし、有事の際には、迅速かつ的確な対応をしていきたい」と話しました。



兼山のじまんとほこりを報告した編集委員

## 兼山のじまんとほこりをこどもたちに

9月13日、「兼山のじまんとほこり」の完成報告会がありました。この本は兼山地区の自治連合会、地区センター、小学校の関係者が編集委員会を立ち上げ、地元企業、美濃東久(株)の協賛で作られました。市長は「地域を知ってもらうのはいいこと。みなさんが一番のじまんとほこりだと、こどもたちに伝えてほしい」と話しました。

今後は、兼山小学校での地域学習副読本として使用するほか、観光交流館や戦国山城ミュージアムにも置かれます。